

人がつながる次代を創る

～思いやりのあるまちづくり～



松原市議会議員

自由民主党

ささもと ゆうじ

活動報告

vol.14

2023年が始まりました。まずは昨年、皆様方から絶大なるご支援を頂いたお陰様で無事当選を果たすことができ、心から感謝申し上げますとともに、また初心に戻り様々な課題解決に向け、これまで以上に邁進する決意を新たにしました。

昨年は世界を震撼させたロシアによるウクライナ侵攻。今なお終息の見えないこの事態は世界全土にまで影響が及び、特に国内では物価高騰による先の見えない生活不安に悩まされています。しかし一方では、先日行われた「サッカーワールドカップ」ではベスト8を賭けて躍動した日本選手から力と勇気を頂いた方も多くおられたのではないのでしょうか。これを契機としてコロナ禍も含め一日も早く平和で元気な日々が戻ることを心から願うばかりです。

今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



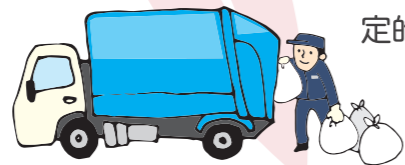
議会報告

【令和4年第3回定例会(10月議会)】

個人質問

◆高齢社会における持続可能なごみ収集体制について

問 市民生活に直結するごみ収集サービスを将来に渡り安定的に提供するために以前から収集方法や長期間不採用の職員体制の是正をこれまで問うてきた。高齢社会における持続可能なごみ収集体制についてどういう展望をお持ちか。



質問の様子は
こちらからご覧
いただけます。→



答 収集の効率化や民間事業者の活用等を考え、社会情勢や市民ニーズに迅速・的確に対応し、かつ高齢化した職員体制の問題の議論もし、安定的なサービス提供に取り組めます。

◆「人と猫が共生する社会の実現に向けた公的支援についての請願書」が採択された後のこれまでの市の対応について

問 当該請願書が採択されたにもかかわらず、一向に環境が改善されない。市の支援とは?また、動物行政を司る大阪府の役割を果たすように求めて貰いたい。



答 特に採択後、活動の際の必要物品を貸出している。それに加えて、動物愛護法の権限を有する府に対し、しっかりと対応して貰うよう求めてまいりたい。

◆避難所運営マニュアル策定の進捗状況及び災害用トイレの確保・管理に関する市の現状と考え方について

問 災害時のトイレの確保は順次進んでいるが、発災時に衛生的に使えるかどうか災害関連死に直結する。国のガイドラインに沿った計画を。



答 簡易トイレ、携帯トイレなど一定数の災害用トイレは計画的に確保していますが、家庭での携帯トイレの備蓄の周知啓発を進めながら、今後も必要な物品の確保に努め、防災対策に取り組んでまいります。

【令和4年第4回定例会(12月議会)】

個人質問

◆学校校舎の大規模改造と長寿命化について

問 老朽化した公共施設の今後の計画的効果的な長寿命化を図るにあたり、小学校では全学年単クラス、中学校では全学年3クラス以下という望まない状況が今後予想される中で、学校規模の適正化、小中一貫校による再編等、適正管理の方針を早急に出す必要があると考えるがいかがか。

答 市としては現時点ではまずは安心して教育が出来る為に 順次適切な改修工事が必要と考えている。



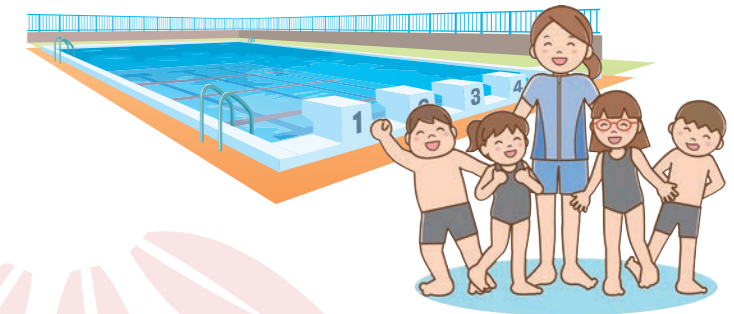
質問の様子は
こちらからご覧
いただけます。→



◆学校プールの今後の利用方針と体育館の空調の必要性について

問 全国的に学校プールの集約廃止が増えてきている。熱中症回避による授業数の減、施設老朽化による維持更新の難しさ等で共同運用、市営・民間プールの活用が考えられる。プール建替えに一基約2億円かけるならば高齢者も利用可能な市営の温水プールを検討し、子ども達の泳力をつける指導確保が大切ではないか。

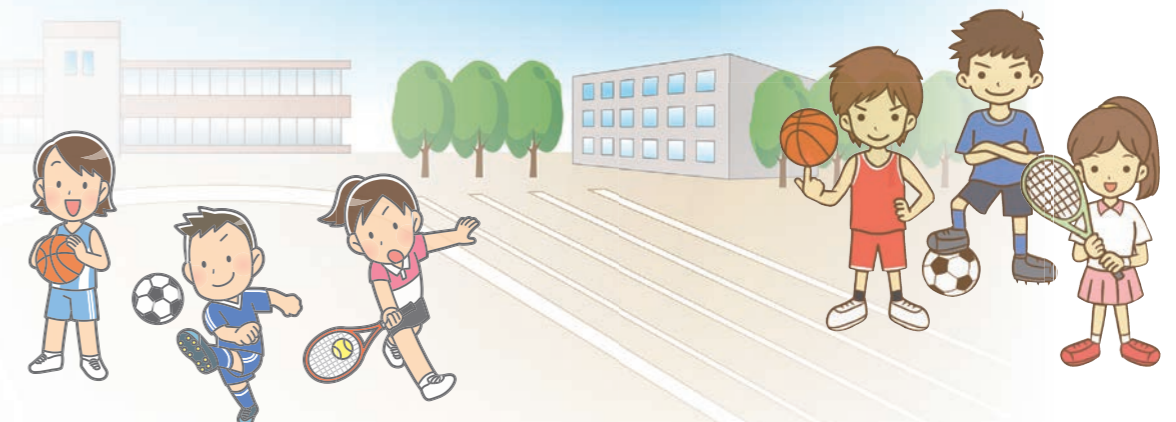
答 市全体で横断的に研究検討する。



◆公立中学校における運動部活動の地域移行の提言に基づく市としての今後の方針について

問 スポーツ庁から公立中学校運動部活動の地域移行の提言が今年6月に出され、まずは休日から令和7年までに進めるようにと示された。少子化と教員の多忙化による部活動の継続困難が発端。市教委としてどのような考えをお持ちか。

答 今はスポーツに関する地域の人的量的資源が十分に掘めていないが、阪南大学スポーツマネジメント部の力も借りながら、教育の一環としての良さを残すよう努め、進めていく。





視察&陳情

11月7日(月)内閣府

◆厚生労働大臣政務官 自見はなこ参議院議員に対する陳情

「現代の保育環境に見合った適正な人員配置の根拠となる国の保育士配置基準の見直しと保育士がやりがいを持って働ける環境整備に関する陳情」民間保育園長等と共に、現基準が約70年も改定されていないことから生じる現代の保育事情との乖離の問題と処遇改善も含めて保育士の労働環境改善が子どもの健全育成につながると訴えました。



11月8日(火)社会福祉法人どろんこ会

駒沢どろんこ保育園・発達支援つむぎ駒沢ルーム

◆児童発達支援事業所併設型の保育園を視察

児童発達支援事業を単独で経営されている事業所がほとんどですが、社会福祉法人が運営する保育園に併設した児童発達支援事業所があると聞き保育園と支援事業所を視察しました。個別療育と集団療育とのバランスが図れ、発達支援を必要とする子どもが増えている松原市においてもとても必要性を感じました。本来はセンター機能を有する施設が身近にあることが事業所全体の療育の質の向上に繋がることを訴えています、人的資金的に課題がまだまだ残ります。

視察に関するHPはこちらからご覧いただけます



11月14日(月) 長崎県諫早市「スポーツパークいさはや」

◆スポーツパークいさはやを視察

諫早市に2018年にオープンした施設。中心は2面の野球場及びサッカーコートですが、お目当ては約750平方メートルの規模を誇る公共スケートボード場です。2021年東京オリンピックで金メダリストとなった松原市在住中学生の西矢椛選手に続く選手が生まれ、また若者が元気に集う街にしようとして市は現在、立部の清掃工場跡地に第2のスケートボード場を設置しようとしています。スケートボードが持つ将来性と整備に関する基本的な考え方を学びました。

視察に関するHPはこちらからご覧いただけます



11月17日(月)長崎市役所

◆「長崎市職員ワークライフバランス推進計画」を学ぶ

長崎市長が「イクボス宣言」をされたとの情報を得て、今注目されている父親の育児参加が進んでいるのか、また、仕事と休日の過ごし方のバランスが進んでいるのかといったワークライフバランスの観点で視察させていただきました。全国的にも父親の育児参加の必要性が叫ばれていますが、どの市町村も同様な課題が残されています。日本人の労働に対する価値観が変わらないとワークライフバランスの実現には中々難しいのかもしれませんが、父親の育児参加の推進は組織としてのバックアップ次第ではないでしょうか。

視察に関するHPはこちらからご覧いただけます



11月17日(月)長崎市あぐりドーム

◆「あぐりドーム」を視察

全天候型時間入れ替え制の子どもの遊戯施設が10月28日にオープンするとあって、タイミングよく視察させていただきました。年齢に応じた遊具が置かれており、保護者もゆっくりと子どもを見守りながら時間を過ごすことが出来ます。最近子どもが戸外で遊ぶ姿をめっきり見なくなりました。せいぜい公園ぐらいでしょうか。松原市にも低年齢層に対する「チャレンジドーム」がありますが、年齢層の高い子ども達の遊び場所も望まれています。



視察に関するHPはこちらからご覧いただけます



11月18日(火)諫早市こどもの城

◆「こどもの城」を視察

上記「あぐりドーム」とは違った狙いをもって運営されている「こどもの城」。ここでは「生きる力」を培い、大人も子どもも「学ぶ」ことを基本として訪れる施設です。人との出会いがその人の財産になり、またその得た経験知識を役立てる場所でもあります。訪れると直ぐに説明員の方がウェルカムソングで和ませてくださいました。自然に恵まれた良い環境の中ですくすくと成長できる教材がそこかしこにあることが羨ましく感じました。



視察に関するHPはこちらからご覧いただけます



活動報告は、公式ホームページ・ブログ・Facebookでもご覧いただけます。



公式ホームページ

<http://y-sasamoto.sakura.ne.jp>

ささとゆうじ 検索



スマートフォンからはこちらのQRコードをご利用ください。



Facebookでは「ささとゆうじ」で検索

ブログ(ゆうさんのブログ)

<http://ameblo.jp/yuusan-0716/>

- 市政相談は随時
- 育児・発達相談も随時 (予約要/保育士の妻が対応)

市政に対するご要望、ご相談がございましたらお気軽にご連絡ください。
〒580-0033 大阪府松原市天美南4-10-3
携帯電話: **090-1445-1086** TEL/FAX: 072-283-1414
E-mail: y.sasamoto@pink.zaq.jp

2施設のあり方が今後市民の皆さんにどう生かされるか研究してまいります。

まごころ・まんなか まつばら未来!

会派名「まつばら未来」



橋本 邦寿 5期 自由民主党



松井 育人 4期 立憲民主党



ささとゆうじ 3期 自由民主党



井上 彰人 1期 無所属

「松原市をもっと住みたい街に!」と志を同じくした者で会派を結成しました。